

道教の美術
TAOISM ART
From China to Japan
大阪市立美術館
2009.09.15-10.25

道教の美術展記念シンポジウム
[道教美術史の可能性]

2009年 9月26日(土) 13:30~16:30 [13:00 開場]

会場 大阪歴史博物館 講堂 [地下鉄:谷町四丁目駅下車]

主催 「道教の美術」大阪展実行委員会
助成 野村国際文化財団

13:30 開会挨拶

13:35 趣旨説明

13:55 講演 (各先生20分)

「中国美術と道教—宋元画を中心に」

宮崎法子 (実践女子大学教授)

「星曼荼羅の構成要素と配置に見る道教の影響」

松浦 清 (大阪工業大学准教授)

「日本の中世仏画と道教」

石川知彦 (大阪市立美術館研究副主幹)

「室町水墨画と道教」

福島恒徳 (花園大学教授)

15:15 休憩

15:30 座談会 登壇者=講演の各先生

16:30 閉会挨拶

■ 参加申込み ■ 聴講無料

展覧会公式ページ内 申込フォーム <http://taoism-art.main.jp/symposium.html>

あるいは大阪市立美術館まで、ファクスにて、お名前・ご所属・ご連絡先をお伝え下さい
fax 06-6771-4856 お問い合わせ: 大阪市立美術館06-6771-4874
なお、お送りいただいた個人情報は、本シンポジウム関連の連絡にのみ使用いたします